



雪谷の清流

平成30年 12月 25日発行
岩手県立軽米高等学校通信31号
文責:副校長 松場 喜美夫

冬季休業前納め式 12月21日(金)



明日からの冬季休業を控え、12月21日(金)に賞状伝達式、軽米町・一戸町海外派遣生徒出発式、授業納め式を行いました。校長講話で、高橋校長は次のように話されました。今年度、本校は創立70周年を迎えました。「70年の伝統を礎として新たな歴史を創造する学校をつくる」を年度初めから呼びかけ、事あるごとに軽米高校の歴史に思いを寄せてもらいました。式典と記念講演会では、皆さんの爽やかな行動に称賛の声をたくさんいただきました。また、これからの飛躍を期待し80周年につなげる躍

動のスタートを意識して、現在様々な活動に頑張ってもらっています。ありがとうございます。軽米高校だけでなく、今年県内で多くの高校が70周年を迎えました。皆さん、戦後の民主化改革は知っていると思いますが、その一つに教育改革がありました。昭和22年制定の「学校教育法」により、それまでの不平等な教育構造が見直され、教育の平等を目的に「6・3・3制」が実現しました。「学制改革」と言います。そして、翌昭和23年に新制高校として誕生したのが、軽米高校など今年70周年を迎えた学校です。記念式典では、地域発展のための地域住民の熱い高校誘致運動があった話をしましたが、その根底には、GHQや教育学者だけでなく、日本全体に民主的な教育制度待望論が沸き上がっていたのだと思います。その意味で、今年70周年を迎えた高校は、戦後の新しい高校教育を牽引してきた学校と言えるのです。

このような節目は、学校だけでなく、あらゆる組織で大切にされ、多くはそれまでの業績を称え、感謝し、これからの発展の決意の位置づけとしています。

来年、日本は大きな時代の節目を迎えます。どのような元号になるのか、昭和が平成に変わるときに感じた昭和への独特の親しみが、今は平成にも感じられるようになりました。改元という手続きにあたり、終わろうとする元号には、その間の業績を称え感謝し、新たな元号には、これからの発展に期待を込める意味があると感じます。その点で、新たな10年をスタートさせる学校の周年行事に似た思いを持ちます。

冬休みとは言いますが、年末年始は慌ただしく過ぎ去ると思います。部活動や課外、家庭の行事などのスケジュールは計画的に、一日一日を充実させてください。特に3年生のセンター試験受験生については、追い込みの時となります。

それでは、事故など無く、風邪なども引かないようにして、晴れやかに新年を迎えてください。希望に満ちた新しい気持ちで始め式に会えることを願います。

冬季休業前表彰並びに賞状伝達式

- 校内読書感想文コンクール
 - 最優秀賞 小林美慶(2-2)
 - 優秀賞 小田絢香(2-2)
 - 優良賞 澤尻七星(1-2)
 - 佳作 内澤乃愛(3-1)
 - 駒目桃花(2-1)
 - 松橋駿人(1-1)
- 陸上競技部
 - 宮川真優(1-2)
 - 内澤莉子(3-1)
 - 渡部 雅(2-1)
 - 柳 翔磨(1-1)

夏季休業以降の活動の中で、校内外で表彰された生徒たちに、表彰並びに賞状の伝達を行いました。



- 第69回岩手県高等学校新人陸上競技大会
 - 女子砲丸投 第1位 久保美乃(2-2)
 - 女子ハンマー投 第1位 久保美乃(2-2)
 - 総合女子フィールドの部 第3位 軽米高校
- 第23回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
 - 女子ハンマー投 第1位 久保美乃(2-2)
 - 女子砲丸投 第1位 久保美乃(2-2)
 - 女子ハンマー投 第1位 久保美乃(2-2)
- 平成30年度秋季陸上競技会
 - 女子砲丸投 第1位 久保美乃(2-2)
 - 女子ハンマー投 第1位 久保美乃(2-2)



- 卓球部
 - 第58回久慈市近郊卓球大会
 - 男子シングルス 第3位 池端 蓮(2-2)
 - 一般女子団体 第1位 軽米高校
 - 女子シングルス 第1位 小林美慶(2-2)
 - 第2位 榎主花菜(2-1)
 - 第3位 高柳里佳子(2-2)
- 全日本アンサンブルコンテスト 岩手県大会
 - 県北支部大会高等学校の部
 - 金賞 軽米高校管打八重奏

- 第41回岩手県高等学校総合文化祭
 - 書道部門 第1種 漢字・仮名
 - 奨励賞 大久保冨(3-1)
 - 入選 大久保咲(3-1) 山根未鈴(2-2)
 - 大鳥美樹(1-1) 小笠原穂香(1-1)
 - 中村佳寿美(1-1)
 - 第1種 漢字仮名交じり
 - 入選 山根未鈴(2-2) 中村佳寿美(1-1)
 - 第2種 漢字・仮名
 - 秀作賞 松橋駿人(1-1)書道選択生
 - 入選 井戸淵菜摘(3-1) 内澤乃愛(3-1)
 - 内澤諒輔(3-1) 書道選択生
 - 第2種 漢字仮名交じり
 - 入選 畠山友輝(3-1)書道選択生
 - 駒目桃花(2-1)書道選択生
 - 新井田里桜(2-1)書道選択生
 - 堀田澤彩魅(2-1)書道選択生
 - 入選 松橋駿人(1-1)
- 平成30年度岩手県高等学校家庭クラブ連盟県北支部研究発表大会
 - ホームプロジェクトの部
 - 優秀賞 稲森 颯(1-1)
- ニチデアートグランプリ 株式会社ターレンスジャパン賞
 - 長根麻子(2-1)

軽米町・一戸町 海外派遣生徒出発式

今年の町海外派遣は、年が明けた平成31年1月4日(金)~11日(金)の期間でアメリカ合衆国ポートランド市に行きます。出発を前に、本校から参加する大清水寛生君(2-2)、土佐慈さん(2-2)が全校生徒の前で、英語で決意表明しました。



【大清水君】
シャイな自分ではあるが、その殻を今回の研修で打ち破りたい。また、アメリカの食事や文化を楽しみ、トランプ大統領に会ってきたい。フリーズを聞き間違えず、銃に撃たれないようにしたい。

【土佐さん】
私の事業への参加動機は、自分の英語力を向上させたかったから。現地の方々と積極的にコミュニケーションを図りたい。向こうでは、書道やソーランを披露する。トラブルに見舞われてもそれを克服したい。

引率の石村先生はじめ、軽米中学校、一戸町内の中学校、一戸高校の生徒の皆さんの実り多き研修と安全な旅行をお祈りいたします。

お知らせ

学校では、一人年間3冊以上の読書をして欲しいと考えています。また、休み明けには、英語検定、漢字検定もあります。軽米町からの補助に甘えることなく、しっかり準備して受験してください。

【編集担当者より】
今年は、ここまで11号の学校通信を発行しました。生徒たちの校内外での活躍を誌面に十分には表現しきれないのですが、少しでも保護者の皆様に伝わればと思います。新年からは、「広報かるまい」で軽米高校のコーナーが新設されます。軽米高校の様子を今まで以上にお知らせしたいと考えています。70周年記念事業も含め、本年中は大変お世話になりました。来年もよろしく願います。良いお年をお迎えください。